

令和5年度 長崎県立小浜高等学校 学校関係者評価 報告

1 評価の実施期日・場所等

- ・日時：令和5年2月20日（火）16：00～17：00
- ・場所：小浜高等学校 校長室

2 学校関係者評価委員

- ・委員氏名：松永英伸、津田浩平、林田真明、宅島由美子、山東晃大（5名）

3 学校関係者評価の内容

(1) 学校評価（含む生徒・保護者アンケート）の結果について

全体的に生徒、保護者共に満足度が高く、徐々に成果が数字に表れてきている。また、生徒の「小浜高校に入学してよかった」86.6%、保護者の「子どもを小浜高校に入学させてよかった」93.5%と高い評価を得ているのは、とても素晴らしい。また、総合ビジネス科の人気増加で、学校全体が活気づいている。

生徒・保護者共に「授業以外で自主的に学習している」項目が低く、家庭学習の定着が必要である。今後の指導をお願いしたい。

生徒が主体となって校則の改正や、行事の運営、そして学習活動まで広がっているのは大変素晴らしい。今後も盛り上げてほしい。

学校評価は親の意識の違いで結果に影響があると感じる。小浜高校は本当によくやってくれているし、学力以上に人間力を大切にしてくれている。

(2) 学校評価の結果を踏まえた今後の改善策について

若者の県外流出が深刻である。今後も地域との密着を深め、ふるさとの良さを知ってもらい地域への就職に繋げてほしい。進学・就職を含め県内定着や地域定着が進むような取組を今後も強く進めてほしい。また、進路の合格者一覧に該当学科を明記し、普通科・総合ビジネス科の進路状況が把握できるように改善した方が良い。

生徒が主体となって取り組んでいることは大変素晴らしいことであり、今後も継続してほしい。さらにワークショップ形式でコミュニケーション能力を高め、人前で話す機会を増やし、プレゼンテーション能力の向上に努めてほしい。

(3) 学校の重点目標や学校評価の評価項目について

「生徒が創り、動かす学校」のテーマのもと、学校行事の運営だけでなく、地域でのボランティアや中学生との交流など大変素晴らしい。今後も「生徒が創り動かす学校」を目標に、生徒自らが学校行事や校則、学習まで取り組む体制づくりを進めてほしい。

さらに校訓「誠実な人」のもと、人間力育成に尽力していただきたい。

(4) 学校運営の改善に向けた実際の取組について

生徒の個性・希望に応じた、きめ細やかな進路指導に努め、少人数・習熟度授業を活かして、生徒の実態に応じた教科指導を継続してもらいたい。また、生徒の活動状況を中学校や雲仙市、報道機関、HP等で積極的にアピールし、生徒自ら創る行事を増やし、楽しくにぎやかな小浜高校を目指してほしい。